

ミズ・バラエティー

受託業務 高付加価値化を図る

出荷の波動対応に強み

医療機器製造免許も申請中

販促品物流のミズ・バラエティー(本社・静岡県富士市、栗田佳幸社長)は、受託業務の高付加価値化を図っている。同社は、化粧品などの販促グッズの製造・流通加工が主力で、化粧品・医薬部外品では製造業免許も保持。現在は医療機器の製造業免許を申請中で、より参入障壁が高い業務の受託を増やす。同社は、長く販促グッズを中心に取扱いしてきたことから出荷波動の激しい案件を得意とするなど、物流業務の請負体制に独自の強みを持つ。

コールセンター業務も提供可

08年の金融危機以降、特別な技術や免許などが必要としない流通加工業務の単価下落が著しい。同社は、主力の化粧品案件では長年の実績から独自のノウハウを持つが、今後は他分野でも同業他社との差別化を図っていく考え。製造業免許

を申請中の医療機器分野など、より参入障壁が高い分野に参入し、これら業務の受託比率を高めることで、収益率の向上を狙う。これまで培ってきた、出荷波動に柔軟に対応できる業務体制も強みだ。同社の主要案件となる企業の販促



ミズ・バラエティーの「第1ロジスティクス」

品などは、短期間に集中して流通するものがほとんどで、業務は繁忙の落差が激しい。同社は、非常勤スタッフを自社で直接雇用し、業務の波動に応じて作業人員を調整する体制を確立している。短期・不定期案件への対応が得意な上、化粧品案件で培った高度な作業品質を持つことから、近年では化粧品以外の商品分野の受注も拡大している。

現在、国会で継続審議となっている労働者派遣法改正も追い風になりそう。同法改正案が成立すると、日雇い派遣や登録型派遣などが原則禁止となる。作業スタッフを人材派遣に頼る倉庫などでは人材確保が困難になると予想され、同社では受託案件の増加に備えてスタッフの増員などの準備を進めている。

製造・流通加工業務は、静岡県富士市に持つ物流倉庫「第1ロジスティクス」

で手がける。全国各地への個人配送も同社が手配する。同倉庫は、延べ床面積約5000平方メートルの三層構造で、3階部分の約660平方メートルには6ラインのクリーンルームも設置。クリーンルームでは、高度な衛生管理が要求される化粧品などの包装、表示、検品業務を手がけている。女性スタッフが中心のきめ細かな作業品質に加え、品質マネジメントのISO9001認証も取得。検品ミスを100万分の1以下に抑えた精度の高い検品業務の提供実績もある。

自社開発の物流情報システムによる出荷・着荷情報やコールセンター業務の提供も可能。抽選プレゼントなど機密性の高い案件を取り扱うことから、情報セキュリティのISO27001認証を取得するなど、情報管理でも徹底した体制を敷いている。

同社は、1976年設立。大手化粧品会社の販促品の物流業務を多く取り扱う。近年は大手飲料会社や広告代理店など、販促品物流の取り扱い分野を拡大。懸賞賞品やクレジットカード会社などのプレゼント案件、短期のカタログ通販などの物流業務も受託している。